

令和元年度

函南町教育委員会

自己点検・評価報告書

令和2年12月

函南町教育委員会

## 目 次

はじめに	1
1 令和元年度函南町教育委員会の活動等における点検評価の対象	2
(1) 教育委員会の活動	2
(2) 教育委員会が管理・執行する事務	2
(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	3・4
2 函南町教育委員会の自己点検・評価シート	5～8
3 学識経験者による評価	9～12
4 総合評価	13

はじめに

平成20年4月に施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、函南町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するため、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について自己点検及び評価を実施し、平成21年3月に最初の報告書をまとめた。以来、毎年度自己点検及び評価を実施している。

本年度は、令和元年度中の函南町教育委員会の事務の管理及び執行状況について13回目の自己点検及び評価を実施した。

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、令和元年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、自己点検及び評価の結果を報告するものである。

令和2年12月

函南町教育長 山邊 義彦

## 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 1 令和元年度函南町教育委員会の活動等における点検・評価の対象

#### (1) 教育委員会の活動

函南町教育委員会では、毎月1回の定例教育委員会を開催している。

令和元年度は、年12回の定例会を開催した。

また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い年2回の総合教育会議を開催した。

各小・中学校、幼稚園及び生涯学習関係の施設訪問を実施した。

函南町教育委員会主催の行事への参加も多数計画され、成人式、卒業式、入学式、運動会等に参加し、行事が円滑に進行できるよう教育委員としての職務を果たした。

#### (2) 教育委員会が管理・執行する事務

教育委員会が管理執行する事務は、昭和31年函南町教育委員会規則第2号「教育長に対する事務委任規則」第1条に規定されている以下に示す17項目である。

①学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること。

②学校・公民館・文化センター及び図書館の設置及び廃止を決定すること。

③1件80万円を超える教育財産の取得を申出ること。

④県費負担教職員の懲戒及び県費負担教員たる校長の任免その他の進退について内申すること。

⑤県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を決めること。

⑥前2号に定めるもののほか人事の一般方針を定め及び懲戒を行うこと。

⑦県費負担教員以外の校長及び図書館長の任免を行うこと。

⑧教育委員会事務局及び教育機関の職員の任免を行うこと。

⑨学校・公民館・文化センター及び図書館の敷地を選定すること。

⑩1件130万円以上の工事の計画を策定すること。

⑪教育委員会規則の制定又は改廃を行うこと。

⑫教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申出ること。

⑬法令及び条例に定めのある附属機関等の委員の任命又は委嘱及び解任又は解職を行うこと。

⑭校長・教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。

- ⑮学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し又はこれを変更すること。
- ⑯教科用図書採択に関すること。
- ⑰文化財の指定及び解除に関すること。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

「函南町総合教育会議」において策定された「教育大綱」と「重点施策推進プラン」に基づき、令和元年度はこれを実施した。

なお「平成31年度教育要覧」に示されている函南町の教育行政の方針を以下に記す。

① 生涯にわたる学びを支える環境づくり（生涯学習社会の形成）

- ア 赤ちゃんから高齢者までの読書活動を推進し、生涯学習のまちづくりに向けて、学びの機会の充実やボランティア等指導者の養成と活用を図ります。
- イ 安心安全な学校施設の整備を進め、教育環境を改善する取組を進めます。
- ウ 心身ともに健康で「頼もしい教職員」の育成を図り、不祥事根絶に努め、共生社会を支える人権尊重の教育と啓発に取り組みます。
- エ 新しい時代を展望した教育行政の推進に向けて、実効性のある施策が展開できるように各部局と一層の連携を図ります。

② 学びの場の充実と円滑な接続による人づくり（ライフステージの円滑な接続）

- ア 家庭のニーズや保護者の状況に応じた支援により家庭の教育力向上を図り、健康づくり課、子育て支援課、教育委員会等、関係機関と連携し、幼児期教育の充実に努めると共に、小・中学校への円滑な接続を図ります。
- イ 児童生徒が自他を大切にす態度や行動力を育み、いじめ、不登校等の解消、家庭に問題を抱える児童生徒への対応のため、教育相談体制の充実や教職員・学校の対応能力向上に努めます。
- ウ 「徳・知・体」のバランスのとれた「生きる力」の育成に取り組み、発達障がい等を含めた幼児、児童生徒の教育的ニーズに対応し、教育の各ステージで指導と支援の充実に努めます。
- エ 学校・地域・企業等が連携し、職場体験等の活動を通してキャリア教育を進め、児童生徒一人一人に望ましい勤労観、職業観を育成します。また、中高連携により確かな進路指導に取り組みます。

③ 社会給がかりで子どもたちを育む環境づくり

- ア 園・学校における教育推進の重点に「交流」の視点を位置付け、「多様な学び」や「体験活動」の充実と活性化を図ります。
- イ 各区等での地域活動に児童生徒を積極的に参加させ、幅広い交流活動を通して、互いの理解と信頼を深め合い、成長できる教育風土を醸成します。
- ウ 丹那小学校、桑村小学校では「静岡型コミュニティ・スクール」として、「地域とともにある学校づくり」をテーマに、小規模校の良さを生かした教育活動を推進します。
- エ CSディレクターを置き、コミュニティ・スクールと地域学校協働本部事業のコーディネートを行います。
- オ すべての学校を「コミュニティ・スクール」として指定する準備をしていきます。

④ 生きがいや潤いをもたらす文化・スポーツの振興

ア 郷土の歴史や文化に対する誇りや愛着を育むため、文化財等を活用した地域に関する教育を推進します。

イ スポーツ・健康長寿フェスタを実施し、町民の健康づくりを推進します。

ウ 部活動を支援する外部指導者の活用等、運動部活動の在り方と支援について研究します。

⑤ 今日的な重要課題に対応した教育の推進

ア 児童生徒の情報活用能力の育成に向け、ICT を活用した教育活動を推進し、授業の改善を図ります。

イ 教職員の長時間勤務の改善を図ります。

ウ 「函南町いじめ防止等生徒指導連絡協議会条例」および「同運営要綱」に則し、いじめの未然防止を第一目標とし、早期発見、早期対応、早期解決を図ります。

元函南町立桑村小学校長

田方地区学校生活協同組合専務理事

学識経験者 木下 正則

## 1 教育委員会の活動

「教育委員会の活動」について教育委員会の自己評価が全てA評価となっていることは、前年度の反省を踏まえ、日々改善に努めている教育委員会の姿勢が窺われ評価できる。

総合教育会議は、首長と教育委員会が直接協議する場であり、両者が教育政策の方向性を共有し、教育の充実につなげる重要なものとする。変化の激しい社会情勢や教育現場の現状を考えれば、年2回の開催ではなく、夏休み前・冬休み前・春休み前に各1回、年3回の開催が望ましいように思う。

町内の教育を語る上で、学校や園を訪問し、子どもたちの様子を観察したり、教員と語り合う中で町内の学校教育の課題を確認したりすることは、函南町の学校教育の実態を知る上でとても大切なことである。台風の影響で訪問できなかった学校もあったようだが、今後も今までと同様に、全ての学校を訪問し、こどもの様子や教育環境、各校の課題の把握に努めてほしい。確かな現状を理解することで、函南町の教育が、よりよい方向に向かうと信じている。

## 2 教育委員会が管理・執行する事務

「教育に関する方針を定めること」については、定めることが目的ではなく、その方針を浸透させることが肝要である。函南町の教育目標「豊かな感性と『生きる力』をもつ子どもの育成」を実現するためには、乳幼児期から系統立てた教育方針の下、学校・地域・保護者が同じ方向で指導することが必要であるとする。そのためには、保・幼・小・中のより一層の連携が望まれる。函南町では、すでに連携の強化に努めているが、地域・保護者も巻き込んだ連携をお願いしたい。

## 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

地域活動への子どもの参加について、実現度Bになってはいるが、函南町の、特に中学生の地域行事への参加率は、全国平均と比べかなり高い。しかし、自己評価にあるとおり、小学生の参加については、中学生のそれと比べると劣っていると思われる。全校がコミュニティ・スクールとなることによって、地域との協働関係が強まり、地域総掛かりで子どもたちを育む環境づくりが進展するのではないかと期待している。

新型コロナの流行は、学校の情報化の遅れを明確に示すこととなった。今や、ICTを活用した教育の実現は、全国的に喫緊の課題となっている。予算的に厳しい制限もあると思うが、ハード及びソフト両面での早期の導入に努めたい。タブレット等を導入したとしても、数年で入れ替えとなることも踏まえ、今後の予算計画も綿密に立てておきたい。

函南町校長会会長（函南町立東中学校長）  
学識経験者 山本 要司

### 1 教育委員会の活動

自己点検・評価シートでは、小項目でいうと「所管施設の訪問」以外は全て実現度Aであることから、教育委員会では、町内の教育現場の現状を的確に把握しながら、様々な教育課題に対して、丁寧な対応をして頂いたと評価できる。毎年実施している学校等教育施設訪問や学校行事へ出席した際の意見交換、授業参観、施設確認、給食の試食などの機会は、たいへん有意義であり今後も更なる充実を臨んでいる。

また、9月に実施された静岡県三島市・函南町総合防災訓練は、町長部局と教育委員会の緊密の連携がなければ開催までには至らなかったと思う。その貴重な訓練に参加できた生徒や学校関係者、地域住民にも貴重な経験になった。今後も町の他部局との連携を図りながら円滑な教育行政の推進をお願いしたい。

### 2 教育委員会が管理・執行する事務

2017年度からスタートした第6次函南町総合計画が順調に進められていることは、多いに評価できる。また、総合教育会議において、新たに定めた令和2年度からスタートする教育大綱には多いに期待したい。

県費負担教職員のサービスの監督については、指導の徹底がなされている。学校現場を預かる校長にとっても、たいへん心強く感じている。

教職員やその他の教育関係職員の研修については、いじめ防止等生徒指導連絡協議会や不登校連絡会、支援員研修会など、町内の子どもの実態を捉え、役職に応じた効果的な研修が定期的に行われている。更なる充実期待したい。

### 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

「読書のまち・かなみ宣言」を平成25年4月に宣言し、心を豊かにし、人生をより深く生きるための知恵をもたらしてくれる読書活動の推進が学校はもとより町全体で行われてきた。その成果として、「平成31年度子どもの読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰」を受賞されたことは、たいへん素晴らしいことである。今後も、学びの充実に向けて、年齢層に関係なく、幅広く読書活動が行われるような実践を進めて頂きたい。

町の予算が減収する厳しい中で、令和2年度の完全稼働を目標に、函南東中や全ての小学校にエアコンが完備されるようになったことは、職員や子どもたちの熱中症対策だけでなく、学習の保障という点では大きな成果である。

町内小中学校の全てが、令和2年度からのコミュニティスクール化に向けて準備を進めている。来年度以降、学校と地域が連携・協力し、当事者意識をもって子どもたちの成長を支えていく学校づくりを進めていくことになる。その成果にも多いに期待したい。



## 令和元年度函南町教育委員会自己点検・評価に対する意見について

函南町立函南小学校 PTA 会長  
学識経験者 岩田 徹也

### (1) 教育委員会の活動

年 12 回の定例会及び 2 回の総合教育を開催しており、定期的に教育現場の問題を即座に審議できる環境が評価できる。

特に年度末辺りからは、未だに収束の目途がたたない新型コロナウイルス感染症という未曾有の事態への対応には心から感謝したい。

引き続き、各小・中学校、幼稚園、保育園及び生涯学習関係への訪問活動を強化して、子どもたちや教職員の安全な環境づくりに期待する。

その他、会議の運営や公開について将来的にはペーパーレスや会議の内容次第で Web 会議や LIVE 配信が可能な環境整備の検討をお願いしたい。

### (2) 教育委員会が管理・執行する事務

教育長に対する事務委任規則 17 項目中、対象年度では評価を対象外とする 5 項目を除く 12 項目全てを重要度 A とした上で実現度 A という結果は評価できる。

教育改革をしていく上で不安を抱える教職員が想像できる。教職員の人事評価は子どもたちを正しく教育する役割の他にも教育に不安を抱える教職員の道標にもなるので慎重な協議をお願いしたい。

### (3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

様々な教育ニーズに対応できるよう組織や仕組みがあり高く評価できる。

平成 30 年度よりほぼ全ての項目が継続して実現度と重要度が共に最高点となっていることは評価ができる。新たな目標は少しでも高めてより良い教育環境の構築に期待したい。

函南町から羽ばたいていく子どもたちの育成は勿論だが、地域や企業、農業等の交流を通じて函南町で生活することに魅力を感じる子どもたちの育成にも期待する。

地域総がかりで子どもたちを育む環境づくりは、地域コミュニティーの復活が期待でき、保護者や教職員がそれぞれに抱える問題解消にも繋がるのが期待できる。裏を返せば、子どもたちの成長に地域が関れば地域も育つといえる。これを実現できる活動は積極的に企画していただきたい。

好事例を挙げれば「防災キャンプ」のように学校と保護者の他に消防団や行政といった地域全体が連携して子どもたちの防災力や防災意識を高めたことは勿論、新たな取り組みに挑戦したこと自体が評価できる。

このような素晴らしい取り組みを継続していくためにも参加者ひとりひとりに大きな負担が掛からないような工夫と相互扶助の実現を理想としていただきたい。(参考：学校と地域で防災力を高めるパッケージ『イザ！カエルキャラバン (kaeru-caravan.jp)』)

(4) - (ウ) 経済的な理由で習い事に参加できない子どもの可能性を失うことがないように部活動は継続していただきたい。但し、教職員の労働環境改善のためにも引き続き

外部指導員の募集に期待する。

(5) - (ウ) 令和元年度より点検・評価の対象となった「函南町いじめ防止等生徒指導連絡協議会」の活動では、いじめをしない子どもの育成は勿論だが、いじめられる子どもを守るだけでなく、その子どもが社会に出ても負けない「生きる力」を育めるような教育をお願いしたい。

時代や環境の変化で起こる問題に対して教職員と保護者、地域とがもっと交流することで問題を共有し一緒に解決する機会を積極的に設けていただきたい。

#### 4 総合評価

令和元年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、自己点検及び評価を実施し、その結果を今回の報告書にまとめました。

教育委員会の活動については、毎月開かれる定例教育委員会を開催して教育に関する重要事項を審議いたしました。また、町内小中学校、幼稚園、保育園及び生涯学習課関連施設の視察を実施して、各校（園）長や事務職員等から説明を受け、現場の実体を把握することに努めました。教育委員会として学校等教育現場の状況を理解した上で活動することが重要と考えています。

町長との意見交換の場である総合教育会議が2回実施され、函南町の教育の方向性を示す令和2年度からの新たな教育大綱を策定することができました。

また、教育委員会が管理・執行する事務については、項目を個別に点検・評価することにより、事業などの執行状況の確認ができ、成果を検証することができました。

学校教育・社会教育それぞれの事業に工夫と改善を心がけ、事業を推し進め、その結果について自己点検・評価を行う必要性を確認しました。

施設面では、平成30年度から2ヶ年に渡り実施していた函南中学校大規模改修工事が完了しました。また、近年、夏季における猛暑日の増加により熱中症の危険性が高まっていることに対応するため、全小学校及び東中学校の普通教室に空調機器を設置する工事も行いました（函南中学校は大規模改修工事に含めて設置しました）。これらの工事の実施により、児童、生徒が安全で快適に学習できる環境を整えることができました。

今後は、各教育施設の安全性確保、教職員に対する研修、安全意識やセキュリティ意識のさらなる向上を図り、安全な教育現場の実現を目指してまいります。

最後に、学識経験者の皆さまからはお忙しい中、教育委員会の自己点検・評価に対する貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。これらのご意見を参考に、函南の教育・文化に責任を持つ組織として、不易と流行を的確にとらえ、より質の高い教育、安心安全な環境作り、生涯に渡り学び続けることができる教育を目指していきます。今後とも、教育委員会の活動に忌憚のないご意見を賜りたいと考えております。

函南町教育長 山邊 義彦